

上平北小学校



心あつたか キフリと光る
ぼくらの学校

6年 浅田 遼也

私たちの上平北小学校は、全校児童約200人の小さい学校です。そのため、全員の顔と名前が覚えやすく、みんな仲良しで、休み時間に他の学年の子たちと一緒に遊ぶことがよくあります。

そして、みんな一緒に遊べる「北小なかよし集会」という児童会の行事もあります。これは、児童会と学級委員が考えた遊びを、6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生がそれぞれペアになって遊びます。

なかよし集会は、他学年同士が仲良くなるきっかけにもなって、遊んだ後の感想には、「お兄さんやお姉さんと手をつなげてうれしかった」というものがたくさんありました。この遊びを通して、学校全体がもっと仲良くなっているほしいと思います。

また、上平北小学校の自慢の一



ボウリングや輪投げ、豆を皿から皿へ移すゲームやストップウォッチで7秒に近い数字でめぐる「ストップ7」などを行いました



「さわやか農園」を利用した、低学年児童と学区幼稚園、保育園児との交流活動「サツマイモ掘り」。ここで採れた野菜は、年間約350kgもの量が給食に使われています

つに「さわやか農園」があります。ハクサイやサツマイモ、ブロッコリーやダイコンなど、たくさん種類の野菜を育てています。木曜日の給食後に行われる「みどりの時間」や総合的な学習の時間に、雑草抜きや収穫をしています。

この活動の良いところは、新鮮な無農薬野菜を給食調理員さんがおいしく料理してくれて、給食で食べられることです。また、秋に行われる「いちよう祭り」では、農園で採れたサツマイモを焼いて、みんなで食べます。

それから、学校応援団の皆さんに教えていただきながら、近くの幼稚園や保育所の子どもたちと1年生や2年生と一緒に、サツマイモの苗を植えたり、育ったサツマイモを掘ったりする活動を通して交流を深めています。

農園のおかげで、いろいろな人と触れ合うことができ、採れたてのおいしい野菜が食べられるところも上平北小学校のキラリと光るところだと思っています。

Ageo Primary School News

あげお ジュニア 通信

小学校 発

市内各小学校の児童の皆さんが、自分たちの学校の話などを取材し、編集したものをご紹介します。

大石北小学校



6年 佐藤萌夕子
田中怜央奈

チェンジきたしよう

本年度の大石北小学校の児童会テーマは「チェンジきたしよう」です。このテーマは、4月に児童会役員で、どんな学校にしたいかを話し合う中で決めました。「きたしよう」の「き」は規則正しい生活、「た」はたくさんのお友だち、「し」はしっかりと掃除、「よ」は良いあいさつ、「う」はうれしい毎日という意味が込められています。

その中でも、特に頑張っているたいのは「あいさつ」です。そこで私たち児童会は、自分たちでたすきを作り、あいさつ運動に取り組むことにしました。毎朝校門の前に立つてあいさつをします。毎日あいさつ運動を続けていく中で、多くの班が元気にあいさつを返してくるようになりました。これからは、元気なあいさつがあふれる北小を目指して頑張ります。

ふれあいデー

ふれあいデーとは、6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生がペア学級を作って店を出したり、一緒に遊んだりする行事です。私のクラスでは、モグラたたきとクイズ迷路を作りました。ペアの1年生も、遊びに来てくれ

た他の学年の友達も喜んでくれました。普段はあまり接点のない学年の子が、ふれあいデーを通して顔見知りになり、廊下で会うと声を掛け合えるようになりました。友達がたくさんできるふれあいデーはとてもいい行事です。



ふれあいデーで、ペアになってモグラたたきゲームをする児童

大縄大会

大縄大会も、高学年と低学年がペアになって行います。ペアごとに、3分間で何回大縄を跳べるのかを競います。この時期になると、大縄大会に向けて休み時間を使ってどのペアも練習をします。高学年の人はペアの低学年が跳べるように、縄に入るタイミングを教えてあげたり励ましたりします。低学年の友達もだんだん上手になるし、ペアの友達との絆も深まります。

このような行事を通して、大石北小学校のみんながもっと仲良くなり、もっと楽しい学校になったらいいと思います。

Ageo Primary School News

※次回の「あげおジュニア通信」は平方北小学校と東町小学校をご紹介します。お楽しみに…。